

メールマガジン 2024年8月

残暑お見舞い申し上げます。日本にお住まいの方が「毎日岩盤浴の中にいるような暑さ」とおっしゃっていました。極端な暑さが続き、その上、南海トラフ地震臨時情報が発表されたり、身も心も休まらない日が続いておられるのではないかと憂慮しています。主のお支えと助けを心からお祈りしております。ドイツは暑い日もありますが、早くも木の葉が落ち始めて秋の気配を感じるこの頃です。年間を通して日照時間が少ないドイツに住むようになって以来、春から夏に向かう時は、日本では味わったことのないウキウキ感に浸ります。反面、夏から秋に移行する時期、つまり灰色の世界が忍び寄ってくる季節は、心はどんよりとなりがちです。今、私は夏に向かって「時間よ、止まれ!!」と、本気で叫びたい気分です。

夏の時期に恒例となっている「ヨーロッパキリスト者の集い」が、7月25日から3泊4日で開催されました。2016年から毎年参加してきましたが、今回が最後のご奉仕となりました。閉会礼拝後、思いがけずに皆様から心温まる寄せ書きを頂いて感無量でした。同時にぼんやりとしていた日本への本帰国が、現実味を帯びてきました。尚、よろしかったら、集いの講演・メッセージ等、以下の「第41回・Stuttgart特設サイト」で、ご覧いただけます。 <https://www.europetsudoi.net/%E7%AC%AC%E7%94%BC%91%E5%9B%9E-stuttgart-%E7%89%B9%E8%A8%AD%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%83%88/>

8月4日の主日礼拝にて、フィンランドのお友だち牧師が説教・証しのご用をしてくださいました。キリスト者の集い後、我が家に滞在されたので、修学旅行の女学生のように話は尽きませんでした。私が日本にいたらお会いする機会はなかったであろう先生の生きざま、伝道に対する情熱等を垣間見て刺激的な毎日でした。礼拝後には、先生の体験談、そしてフィンランドに関してのお話はとても興味深く、参加された方々は触発されたのではないかと感じています。同じ欧州でも、ドイツとは違ってお国事情に触れることができ、また、先生のフレンドリーなお人柄を通して、楽しく恵み豊かな集会となりました。

今月は、40年以上もドイツにおられた神の家族であるK姉が日本へ本帰国のために、8月11日は送別礼拝となりました。一抹の寂しさを覚えますが、K姉にとっての新しいスタートですので、これまでの感謝を含めて皆様と心併せて日本へと送り出しました。7月末から多種多様な月となりましたが、健康が支えられて、一つひとつ、主が祝福の内に導いてくださっていることに感謝しております。

皆さまにおかれましては、ご健康が支えられて夏のお恵みが豊かにありますようにお祈り申し上げます。

「支える会」のホームページにはドイツの様子ที่わかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。 <https://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki/mailmagazine>



送別礼拝
これまでの感謝を含めて



フィンランドの先生（後列左端）を囲んで皆さん、初めてお会いしたとは思えない親密さを感じた集会でした。

ケルン・広島長崎公園にて 8月10日
核兵器・核戦争根絶!!
平和を願う集会に参加しました



ATOMWAFFEN ABSCHAFFEN
核兵器廃絶と記されている石碑

